



富士ワイズメンズクラブは「**社会を明るくする運動富士市推進委員会**」の加盟団体です

国際会長主題	A・シャナヴァスカーン	より良い世界のために、共に
アジア太平洋地域会長主題	ジョウン・ウォン	大きなインパクトを起こそう
東日本区理事主題	山田公平	ワイズの方向を見極める
富士山部部長主題	相磯優子	たゆたえども沈まず
富士クラブ会長主題	仁藤斎浩	広げよう 楽しい活動 思いやりの心

会長	仁藤斎浩
副会長	増田 隆
書記	増田 隆
会計	岩辺富雄
直前会長	吉澤廣美
担当主事	金井 淳

2024年 11月 会報

11月協調月間
BF・IGO・STEP

巻頭言

増田 隆

- ★2024年11月例会★
- と き 2024年11月13日(水) 18:30～
 ところ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
 受付 小澤嘉道君
 司会 岩辺富雄君
- 開会点鐘 仁藤斎浩会長
 - 開会の挨拶 金井 淳君
 - ワイズソング・ワイズの信条
 - 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和
 - 会長挨拶 富士クラブ 仁藤斎浩会長
 - ゲスト・ビジターの紹介 仁藤斎浩会長
 - 食前の感謝 高野 亨君
 - 卓話 ラジオf 佐野智恵子様
「富士市内の奉仕活動取材レポート」
 - 誕生日
 - 各委員会・書記・会計・事務局報告
 - 出席率・スマイル報告
 - 閉会の挨拶 鈴木靖巳君
 - 閉会点鐘 仁藤斎浩会長

例会終了後役員会を開催します

11月 Happy Birthday

仁藤斎浩君 11月27日

「Z世代」と言う文字や言葉が以前から気になっていましたが、最近特に気になるので調べてみました。Z世代とは1990年代半ばから2010年代前半に生まれた、現在12歳～28歳前後の若者の事だそうです。アメリカのコンサルティング会社が定義したことで世界に広まったようです。Z世代の前の世代はX世代、Y世代(ミレニアル世代)と呼ばれていて、それに続く世代が誕生したためアルファベット順で「Z」となったようです。彼らの特徴として、生まれた時からネット社会が発達していたため、それらを自然に使いこなせる能力があり、XやTikTokのようなSNS・動画サービスを主に活用し従来のメディアであるテレビや新聞からの情報収集は減少傾向にあり、インスタグラムやユーチューブ、トレンドや時事ネタを知りたいときはXなどSNSを使い分け、日常的にスマホやインターネットから情報収集を行っているようです。そういえば最近のテレビCMが(特に昼間の)高齢者向けのサプリメントや健康食品の内容が多くなったようです。テレビを見る若者が減少しているからかな。このように急速にIT化時代になってきた現在、高齢化してきたワイズメンズクラブに果たして、若者がためらいもなく入会してくれるだろうか、と考えてしまいます。私たちクラブが若者に寄り添うように考え方も行動もIT化を心がけて、門戸を広くして活動していく時代が来たようです。ちなみに私は団塊世代です。

10月例会報告

在籍会員	10名	例会出席者	6名	スマイル基金	6,000円	CS基金	円
休会会員	0名	出席率	60%	スマイル累計	19,000円	CS累計	円
担当主事	1名	ゲスト	名	ビジター	名	総出席者	6名

10月例会報告

司会の金井君が欠席のため代わりに増田君の司会で10月例会が開催されました。仁藤会長の開会点鐘に続き、仲澤君の開会挨拶がありました。本日の会場を見渡すと、丸テーブルにメンバー6人でした。先月と同じような会場の状態に、何か寂しさと不安が脳裏を駆け巡りました。漆畑君の休会もあり、富士クラブもこのままの状態



で今後も続くのかと…。増田君の食前の感謝があり、美味しい食事で気持ちを切り替え、引き続きマイタイムに入りました。

内容は定期的に選挙の話が多く、メンバーそれぞれの持論を語っていただきました。

続いて、報告、出席率、スマイル

報告と続き、高野君の閉会の挨拶、仁藤会長の閉会点鐘で10月例会は終了しました。



10月例会の様子です

10月役員会報告

1. 12月の例会は通常の例会に決まりました。
2. 能登半島豪雨災害の緊急支援募金について、富士山部より要請があったら協力することになりました。
3. 富士山部大会と、熱海グローリー40周年の参加者は電車で行くことに決まりました。

富士山女子駅伝交通ボランティア説明会

日時 12月2日(月)午後7時

会場 消防防災庁舎7階大会議室

(参加されるメンバーは忘れなく)

初雪の富士山

ようやく今朝、富士山が初冠雪・・・！



11月6日朝6時30分頃の初雪の富士山(富士市内から)暑かった夏もようやく過ぎ去り11月になりましたが富士山にまだ雪が降らない、と心配していました。ところがようやく今朝、初冠雪の富士山が富士市から確認され、ようやく秋も本番となりました。

マイタイム

鈴木靖巳

ようやく暑さもやれやれ小秋がやってきたようです。一枚上着をはおりたくない季節と思っていたら、大雨、洪水、土砂崩れと命にかかわる災害が発生しています。各地で家屋の倒壊、死者のテレビニュースを見るたび心が砕けます。気持ちだけでも優雅に松茸ご飯、松茸の土瓶蒸しなどでほっこり小さな秋を見つけたいものです。さて今日は10月25日(金)です。あと二日の27日(日)は衆議院議員選挙投票日です。今回は裏金問題等々で大変な選挙かと思われまふ。むしろの上にさらされている候補者もたくさんいるかと思ひます。大谷ドジャースのワールドシリーズ、下剋上の日本シリーズ、松山のZOZOチャンピオンシップゴルフ、女子サッカー、オールブラックスとのラグビー等々盛り沢山の秋の土曜日はテレビを観ながら過ごしたいと思ひます。のんびりと思われまふが大変です八十二才の老人の腰痛でのぼやきのひとりごとです。明日は投票日です。歩いて二分の公民館へ投票に行つてきます。

使用済み切手の収集活動

今年は使用済み切手の収集を行いますので、メンバーのみな様はご用意してください。後日、回収の連絡をします。

国際・交流事業委員会

熱海グローリーワイズメンズクラブ

創立 40 周年記念式典に参加

10月20日(日)14時より熱海芸妓見番歌舞練場を会場に私たち富士クラブの親クラブの熱海グローリーワイズメンズクラブの創立40周年記念例会・祝賀会が



記念式典開会式です

開催されました。山田東日本区理事をはじめとして山下次期東日本区理事など東日本区より6名、田口日本YMCA総主事、斎藤栄熱海市長などの来賓を含め総勢100名近くの多くの参加者がグローリークラブの創立40周年の記念例会・祝賀会に参加しました。第1部の40周年記念例会は綾野会長の挨拶があり、DBCクラブとして11名参加した和歌山紀の川クラブや、5名参加した名古屋クラブの紹介がありました。メモリアルアワーでは、懐かしい、そして大変お世話になったメンバーのみな様が12名、スクリーンに映し出されてグローリークラブと富士クラブの絆がこれからも更に続くように黙祷しました。引き続き第2部の祝賀会が開催されました。



オープニングは熱海芸妓さんが「祝いの舞」を艶やかに舞い40周年を盛り上げました。続いて熱海グローリークラブの式典テーマ、「や

れる事は無限にある」の発表がありました。日ごろ支援をしている熱海ふれあい作業所、陽光の園、心象めぐみ会、の紹介がありました。続いてグローリークラブの活動報告は

- ・熱海学童野球支援活度湯
- ・ヒップホップダンスの支援・アイズダンススクール
- ・サンビーチクリーン作戦
- ・俳句の会

など多彩な活動を実行していることに熱海グローリー



クラブのワイズ愛と団結力を感じました。引き続き会員における「お祭りマンボ」「安木節ドジョウすくい」「南部俵積み唄」が会場狭し、と踊

りまくり会場を盛り上げ、笑いを誘い宴も最高潮に達し、最後に会場いっぱいに参加者全員で熱海音頭を踊



り祝賀会は和気あいあいのうちに終了しました。それにしても、熱海グローリークラブのパワーと熱さと若さには私たちワイズメンズクラブはまだ甘い、と身に染みて感じました。富士クラブも親クラブに負けないように頑張りましょう。

(増田 記)

第47回富士山部部大会

御殿場時之栖で開催

10月12日(土)御殿場時之栖で第47回富士山部部大会が開催されました。富士クラブからは仁藤会長をはじめ吉澤直前会長、増田副会長が参加しました。



相磯優子富士山部部長の開会挨拶

式典には東日本区から山田理事おはじめ18名、西日本区からは鶴丹谷理事をはじめ9名が遠方より参加していただきました。富士山部からは総勢52名が参加しました。記念講演は日本YMCA同盟主任主事、有田征彦様の「YMCAの災害支援と能登半島地震・豪雨の現状」について講演していただきました。懇親会は約80名が親

睦を深めました。アピールタイムでは各区、部、クラブから区大会、周年例会のアピールがありました。すでに外は暗くなり、時之栖のイルミネーションが輝いていました。



【クリーン作戦報告】

CS 委員長 金井 淳

10月27日(日)、毎年恒例の「クリーン作戦」を実施しました。当日は8名のワイズメン・メネットが参加し、約1時間かけてロゼシアターから市役所までの通りを往復しながら、ごみ拾いや昨年2月に設置した



環境美化標語の看板の清掃を行いました。4.5リットルの袋5袋分が満杯になるほどのごみが集まり、特に目立ったのは、缶・びん・ペットボトルなどの飲料ごみやお菓子の袋でした。これらは道端で飲食した後、そのまま捨てられたものではないかと考えられます。



また、年々少しずつ減ってきている印象はあるものの、たばこの吸い殻も依然として道路脇や横断歩道の近くに多く見受けられました。車からのポイ捨てや、信号待ちの際に吸い終えたたばこを捨てる人がいるのではないかと予想されます。

今回の活動中、ごみ拾いをしている私たちの目の前でごみを捨てる人は見られませんでした。今後も定期的に清掃活動を行い続け、その様子を通じて少しでも多くの人に意識を変えてもらえることを願っています。



お疲れさまでした。

YMCA 便り

富士山 YMCA 金井 淳

2011年以降、コロナ禍の期間を除いて毎年富士山YMCAを訪れている神奈川県横須賀市にある横須賀学院小学校の2年生と3年生が、今年も10月末に自然学校で来られました。富士宮やきそばづくりやすすきの迷路、夜の草原散策など、富士山YMCAの豊かな自然を十分に楽しみました。

昨年2年生として訪れていた今年の3年生、YMCA主催のキャンプに参加している子どもたち、そして毎年来てくださる先生方は、「ただいま!」という挨拶とともに帰ってきてくれました。これからも多くの方々が「ただいま!」と帰ってこられる「家」のような場所を目指していきたいと思えます。



富士山 YMCA にもようやく秋の足音がやってきました

次回の清掃活動

2025年4月に海岸のプラスチックごみの清掃活動を実施しますので、ご協力よろしくお願ひします。

CS 事業委員会

静岡 YMCA 便り

運営委員 増田 隆

中学生英語スピーチコンテストが開催されます

開催日時 2024年11月23日(土)

13:00~

開催会場 熱海起雲閣

参加申し込み期限 11月中旬